

2026年3月期（第208期）第1四半期決算について

2025 年 7 月 31 日

大阪ガス株式会社

1. 経 営 成 績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 決算の概要

当第1四半期の売上高は、前年同期並みとなりました。経常利益は、国内エネルギー事業で原料価格等の変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグ(*)による増益影響が増加したことなどにより、増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益となりました。

(*) 原料価格及び燃料価格の変動が、原料費及び燃料費調整制度に基づく販売単価に反映されるまでには一定の時間差があるため、一時的な増減益要因となります。

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
連 結	4,709 (+0.0%) [4,709、+0]	476 (+65.8%) [287、+189]	593 (+35.9%) [436、+156]	485 (+57.6%) [307、+177]

[] 内は前年同期実績及び前年同期差、()内は対前年同期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、原料価格等の変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる増益影響が増加したことなどにより、増益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、フリーポート LNG プロジェクト及び米国上流事業のサビン社の増益などにより、増益となりました。「ライフ&ビジネス ソリューション」のセグメント利益は、材料ソリューション事業などでの減益により、減益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント利益 (注)
国内エネルギー	3,821 (△ 3.4%) [3,957、△ 135]	266 (+104.8%) [129、+ 136]
海外エネルギー	341 (+33.6%) [255、+ 85]	265 (+ 50.9%) [175、+ 89]
ライフ&ビジネス ソリューション	672 (+ 6.7%) [630、+ 42]	45 (△ 11.5%) [51、△ 5]

(注) セグメント利益：営業利益＋持分法投資利益

[] 内は前年同期実績及び前年同期差、()内は対前年同期増減率

(3) 国内ガス販売実績

国内の連結ガス販売量[45MJ/m³]は前年同期を上回りました。家庭用のガス販売量は、低気水温影響などにより、前年同期を上回りました。業務用等のガス販売量は、特定のお客さま先での設備稼働の増加により、前年同期を上回りました。

連結ガス販売量（百万m ³ ）	1,524（＋4.2%）
家庭用	366（＋6.4%）
業務用等	1,158（＋3.5%）
連結ガス供給件数（千件）	5,124（＋0.8%）

（ ）内は対前年同期増減率

(4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、小売と卸売がともに増加し、前年同期を上回りました。

電力販売量（百万kWh）	3,473（＋10.9%）
小売	1,457（＋8.5%）
卸等	2,016（＋12.7%）
低圧電気供給件数（千件）	1,935（＋4.7%）

（ ）内は対前年同期増減率

2. 当期（2026年3月期）の業績予想

2025年5月8日に公表した業績予想から修正はありません。

[単位：億円]

	連 結
売上高	20,400（△1.4%）
営業利益	1,390（△13.5%）
経常利益	1,650（△13.0%）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,270（△5.5%）

（ ）内は対前期増減率

（参考）原油価格・為替レート的前提（2025年4月1日～2026年3月31日）

原油価格（全日本C I F 価格）：75 ドル/バレル・為替レート（T T M）：150 円/ドル

以 上